

4

ペット用の避難用品や 備蓄品の確保

ペット用の備蓄品と、持ち出す際の優先順位の例

優先順位 1 動物の健康や命に係わるもの

- 療法食、薬
- ペットフード、水
(少なくとも5日分 [できれば7日分以上])
- キャリーバッグやケージ
(猫や小動物には避難時に欠かせないアイテム)
- 予備の首輪、リード (伸びないもの)
- ペットシート
- 排泄物の処理用具
- トイレ用品
(猫の場合は使い慣れた猫砂、または使用済猫砂の一部)
- 食器

優先順位 2 情報

- 飼い主の連絡先と、ペットに関する飼い主以外の緊急連絡先・預け先などの情報
- ペットの写真
(印刷物とともに携帯電話などに画像を保存することも有効)
- ワクチン接種状況、既往症、投薬中の薬情報、検査結果、健康状態、かかりつけの動物病院などの情報

優先順位 3 ペット用品

- タオル、ブラシ
- ウェットタオルや清浄綿
(目や耳の掃除など多用途に利用可能)
- ビニール袋
(排泄物の処理など多用途に利用可能)
- お気に入りのおもちゃなど匂いがついた用品
- 洗濯ネットなど
(猫の場合は屋外診療・保護の際に有用)
- ガムテープやマジック
(ケージの補修、段ボールを用いたハウス作り、動物情報の掲示など多用途に使用可能)

